

江戸時代へ一緒にタイムスリップしませんか。  
今まで目にしていた景色が  
ちがって見えてくるかもしれません。

百人一首の原文文字や、街角で見かける店の「のれん」の文字が読めて楽しい!

【問】さて、この「のれん」の字は?



【答】生楚者(きそば)

歴史上の人物ジョセフ・ヒコの『漂流記』を読み、アメリカ人の生活に驚きながら、懸命に生きたヒコの感動を共有できてうれしい!

梅谷七右衛門清政の『愚胸記』から、播磨町の江戸中期の村や生活の様子がわかっておもしろかった!

## 会員の声

読めて

○うれしい!

○楽しい!

○おもしろい!

【意味】  
春く(すく) ↓ そのまま まっすぐ  
高砂 道



播磨町の道標(川端)

寺や公園にある芭蕉や蕪村の句碑や、道標が読めるようになり、積極的にそれらを見ようとするようになって楽しい!

浮世絵や掛け軸などの文字が読めて、内容がわかり、おもしろかった。

たとえば「<sup>はるなつふゆにしょうごごう</sup>春夏冬二升五合」と書いてあり、これは、「<sup>あきな</sup>秋ない<sup>ますますはんじょう</sup>升升半升」と読む。江戸時代のしゃれっけがおもしろかった!

—「<sup>じなぞ</sup>字謎」という文字遊び—